

中

# てんぷら油で走れ雁タク

環境への思いやりを、みんなの力で。知的障害者が通う「おりづる作業所」(中区平野町)は三十日、作業所で、家庭で使用するみとなったてんぷら油回収を受け付ける。油は、環境に優しいバイオ・ディーゼル燃料(BDF)に精製され、広島のカを走る雁木タクシーの燃料に使われる。

(第三種郵便物認可)

おりづる作業所の「春のフェスタ」で地域の人たちに廃油回収のチラシを配る、ちゅうごく環境ネットの一瀬さん(左)



## 中区 おりづる作業所あす回収

### NPO法人が BDFへ転換

集まった廃油は作業所のメンバーがこして、容器に詰める。会場では、皆実高校の美術部員たちが描いた廃油のリサイクル工程を解説する紙芝居の披露もある。油は北広島町に運ばれ、同町の特定非営利活動法人(NPO法人)「INE OASA」(いーね おおあさ)がプラントを使ってBDFに転換する。

広島市のNPO法人「ちゅうごく環境ネット」が中心となって取り組んでいるプロジェクトの一環。BDFは、石油からできた軽油に比べ、硫黄酸化物が発生しないなど環境保全の効果がある。「この取り組みを、いかに大消費地の広島都市圏の家庭と結び付けるか」を

づる作業所が回収役を買って出た。先日、作業所であった「春のフェスタ」などでチラシ千枚を配って協力を呼び掛けた。おりづる作業所の大歳敏郎所長(左)は「環境保全という社会の課題に、作業所のメンバーも一緒に取り組み貢献したい」と張り切っている。受け付けは、午前十時半〜午後一時。同作業所 ☎082(244)6541。